

# 006 健康経営 取り組み事例

企業  
プロフィール



キリンホールディングス株式会社

業種 4 食料品

従業員数 キリンホールディングス単社 1,054名 (2024年度12月実績)

※キリンホールディングス連結従業員数 31,934名 (2024年度12月実績)

## 01 推進方針

従業員一人ひとりが心身ともに健康で充実した生活を送り、CSVへの共感のもといきいきと働き、自立的な個としてそれぞれが日々挑戦を続けながら、キリンで働くよこびを感じている状態の実現。

## 02 目標・課題

- 目標 ・従業員の心と身体が健康で、日々生き活きと働いている状態をつくる
- ・従業員がキリンで働くよこびを感じている状態をつくる

### 目標の達成状況を確認する指標 (KGI)

指標 (KGI) の概要	
プレゼンティーズムの改善 (WHO-HPQによる絶対的プレゼンティーズム)	
指標 (KGI) の目標値	達成目標年度
絶対的プレゼンティーズムの改善 (66.5%)	2027年度

### 自社従業員の課題

重点課題① [KGI] 絶対的プレゼンティーズムの改善 66.5%



### ⑨生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容 従業員調査で、プレゼンティーズムと生活習慣の相関を確認したところ、週に3日以上十分な睡眠がとれている従業員は平均以上のパフォーマンスが発揮できているが、グループ従業員の43%が週3日未満しか十分な睡眠がとれていないことが分かった。

名称:睡眠改善プログラムの参加率

数値目標 (KPI)	数値	単位	年度
	取組前実績値	未実施	%
現在の実績値	17.1	%	2025年度
目標値	40.0	%	2027年度

重点課題② [KGI] 絶対的プレゼンティーズムの改善 66.5%



### ⑬メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応に関する課題

課題内容 身体症状の中で「気分の落ち込み・ゆううつ・不安感」を感じている従業員の絶対的プレゼンティーズムが他の身体症状と比較して最も低く、選択している人数も全体の3割と多いことがわかった。

名称:モニタリング指標として、総合健康リスクを確認していきます。

数値目標 (KPI)	数値	単位	年度
	取組前実績値	-	-
現在の実績値	82.0	-	2025年度
目標値	現状維持	-	-

## 03 施策・実績

### 健康経営の取り組み

#### 施策内容(重点課題1)



従業員対象に睡眠改善プログラムの参加者を募集。睡眠の見える化(主観・客観評価)、睡眠セミナー受講等で睡眠改善に取り組む1か月のプログラム。

#### 具体的な実践内容1

分類	外部サービス	名称	睡眠偏差値 For Biz
提供元社名	ブレインスリープ		
内容	アンケート回答により睡眠偏差値を算出し、プログラム実施前後で変化を確認するプログラム。(睡眠セミナー、デバイスによる睡眠計測、睡眠相談など)		
導入時期	2024年テスト実施 2025年から本格実施		
選択理由	●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ ●実績		
評価 (定量・定性)	●参加者の週に3日以上十分な睡眠がとれている従業員の割合(主観評価)プログラム実施前後で32%から52%に改善。参加者の睡眠習慣の継続について、5か月後アンケートで7割以上が良い習慣を継続中との回答あり。 ●委託先より睡眠偏差値For Bizのサービスが終了との連絡あり。今年はセミナー等個別のコンテンツを依頼予定。		

#### 具体的な実践内容2

分類	自社グループサービス	名称	Well-wa (旧KIRIN naturals)
内容	健康経営支援サービス		
導入時期	2017年~		
評価 (定量・定性)	●KIRIN健康サーベイの実施により、プレゼンティーズム改善の要因を特定(睡眠・運動・メンタルヘルス)適正飲酒プログラム、免疫プログラムなど、自グループの強みを活かしたサービス開発も実施中。 ●ヘルスサイエンス事業や酒類事業などとも連携し、グループ内の知見を活かしたサービス開発により、参加する従業員のコミュニケーション促進や働くよこびにも連動すると想定。		

#### 施策内容(重点課題2)



ストレスチェック・健康意識調査の実施から個人へのフィードバック、組織診断結果のフィードバックを一気通貫で依頼中

#### 具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	Wellness eye
提供元社名	SBアットワーク
内容	ストレスチェック・健康意識調査の実施から個人へのフィードバック、組織診断結果のフィードバックを一気通貫で依頼中
導入時期	2017年
選択理由	●効果 ●使いやすさ ●実績
評価 (定量・定性)	●総合健康リスク、高ストレス者割合など、いずれも良い状態を維持 ●個別相談会、報告会など会社ごとに対応可能。結果報告動画の制作や研修なども、依頼に柔軟に対応していただいております。研修の参加者からも高評価。

## 04 健康経営の成果

検証指標	KGIであるプレゼンティーズムは毎年計測し経年で結果を確認し、生活習慣などとの相関を確認している
検証手法・方法	プレゼンティーズム改善の要因となる睡眠は具体的な目標(週3日以上十分な睡眠がとれている従業員の増加)の改善状況を経年で確認している。睡眠施策は参加者アンケート等からコンテンツごとにプログラムの満足度、結果の改善を確認、5か月後に再度アンケートを実施し継続率も確認している。
検証結果 (具体的な施策の成果を含む)	2024年睡眠施策を実施し、25年の調査では3日以上十分な睡眠がとれている従業員の割合が57%から59.9%に増加した。24年終了5か月後アンケートでは、良い習慣を継続しているとの回答が73%だった。

### 取り組みについての課題や困っていること

現在実施している施策での課題や困っていること
手上げ式のプログラムのため、現在の参加者は関心層が中心。関心の低い従業員をどのように参加・行動層に移行させるかが課題。
今は取り組んでない、今後取り組みたい施策での課題や困っていること
ストレスチェックの組織診断結果でリスクは低いが、休職者は微増傾向にあり、見えていない課題があるのでは?と模索中。

### データ活用事例

事例名	健康管理システム、ストレスチェック結果、社内調査を活用。
内容	健診結果、問診票、社内調査結果などを活用し、モニタリング指標を設定しグループ各社との対話を実施予定。指標については、今後統括産業医とも相談しながら決定する予定。
利用データ	健康診断、問診、健保のレセプト情報、自社独自のアンケート調査結果等。